

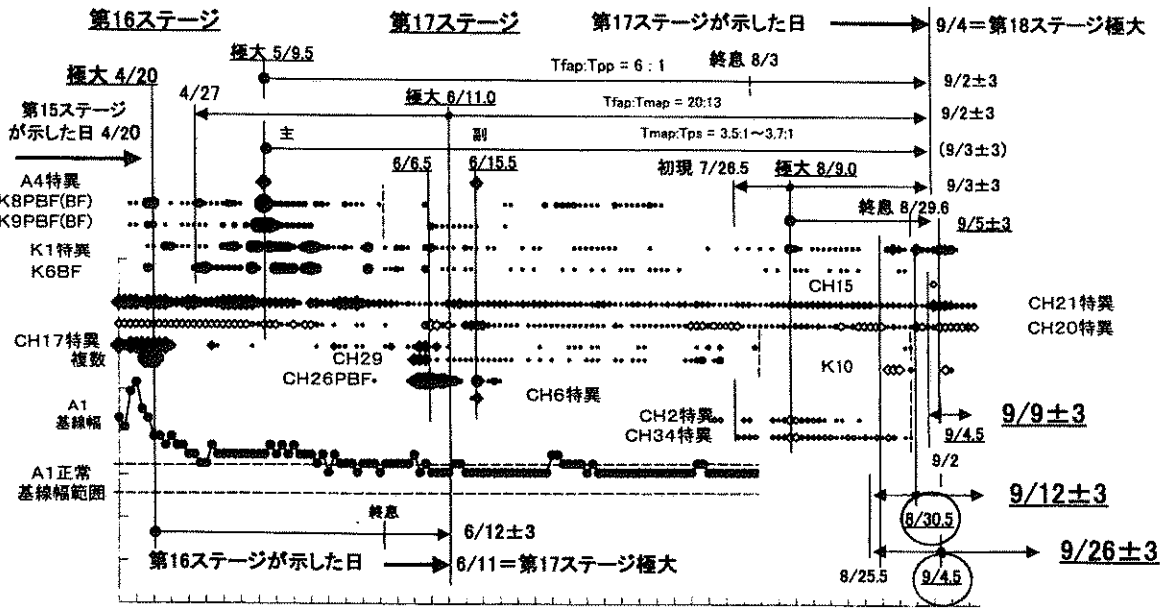
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 現況報告 9/11以前の発生否定 CH20・CH21の前兆終息を待ちます

終息の場合⇒発生日

- 9/10朝 ⇒9/12
- 9/11未明⇒9/13
- 9/11夜 ⇒9/14
- 9/12午後⇒9/15
- 9/13朝 ⇒9/16
- 9/14未明⇒9/17
- 9/14夜 ⇒9/18
- 9/15午後⇒9/19
- 9/16朝 ⇒9/20
- 9/17未明⇒9/21
- 9/17夜 ⇒9/22
- 9/18昼 ⇒9/23
- 9/19朝 ⇒9/24
- 9/20未明⇒9/25
- 9/20夜 ⇒9/26
- 9/21昼 ⇒9/27
- 9/22朝 ⇒9/28
- 9/23未明⇒9/29



CH20=14時間静穏化 終息待ち
CH21=基線幅正常化 終息待ち

右波形のとおり、長期間特異状態が継続したCH20が、9/8 未明と 9/9 午後の時間帯に計14時間ほど静穏正常基線を記録しました。しかし、再び特異状態出現へ。

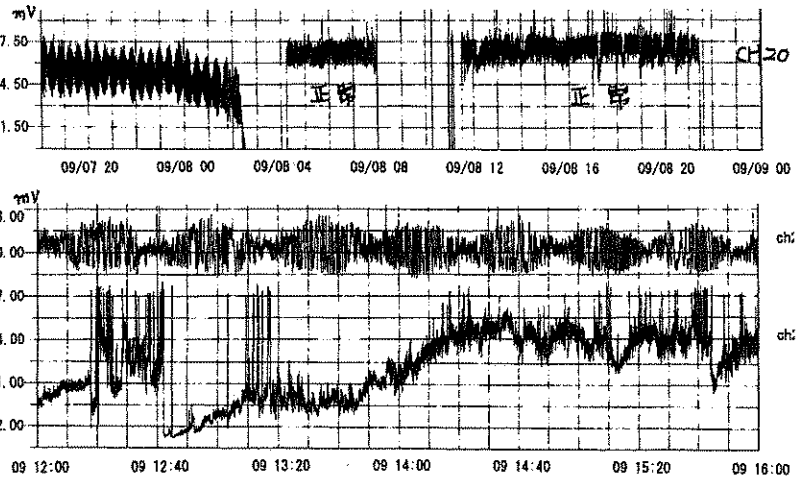
またCH21は右下波形のとおり、異常に細い基線幅から正常基線幅に復帰し、電圧値も正常値に近づいて変動も小さくなって参りました。現在、遠隔観測点データを含め、他に明確な前兆は認められませんことから、8/30及び 9/4極大認識以降、前兆は減衰傾向にあると見えます。

但し、最終認識前兆 9/4.5に対し、本日夕刻迄に前兆終息が観測されないことから、9/11を含めた、それ以前に発生の可能性は否定されます。

右上図のとおり、極大は8/30と9/4 認識ですが、初現認識の高知観測点K1・K10 につきましては、8/21午後の高知観測点の電源トラブルとADコンバーター故障が原因で観測が止まりました。二度に渡る出張で8/25の午前10時に復帰させましたが、8/21午後～8/25朝迄の期間、欠測です。

8/25の昼からK10 に特異が顕著に観測されています。8/22～8/24期間中にK1・K10 に前兆が出現していても不明ですので、上図では8/22初現の場合～8/25初現の場合で8/30極大の場合と 9/4極大の場合を想定して、発生日を推定計算致しました。

上には、本日以降前兆(CH20, CH21) が終息した場合に計算される発生推定日を列記してあります。終息から24時間以内には報告できる可能性があります。静穏期間は2日～6日(後半程長い)あります。前兆が終息したことが確認できましたら、報告させて戴きます。



◆推定領域：右図太線領域内付近 (やや火山帯に近い領域の可能性有)

◆推定規模：M7.8 ± 0.5
※群発的地震活動の可能性も有

◆推定時期：前兆終息を確認して推定
(可能性①9/12±3)
(可能性②9/26±3) 等も推定されるが
実際の終息を確認した時点で計算予定

◇推定地震種：震源浅い陸域地殻
◇推定発生時刻：AM9:00 ± 1 (or PM6:00 ± 3)

